

事業実施主体等取組評価報告書(産地競争力の強化を目的とした整備事業)

(都道府県名: 福島県)

(福島県 平成21年度)

市町村名	事業実施主体名	政策目的	取組の分類	作物等区分① (対象作物・畜種等名) ①	政策目標①	成果目標の具体的な内容①	事業実施後の状況①						成果目標の具体的な実績①	事業内容 (工種、施設区分、構造、規格、能力等)	事業費 (円)	負担区分(円)				完了年月日	事業実施主体の評価	都道府県の評価	備考	
							計画時 (平成16,17年)	1年後 (平成18年)	2年後 (平成19年)	3年後 (平成20年)	目標値 (平成20年)	達成率				交付金	都道府県費	市町村費	その他					
																								4.63% (平成16年度)
会津美里町 会津坂下町 柳津町 湯川村	会津みどり農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	果樹 りんご、柿、桃、梨 野菜 トマト	生産性向上	全出荷量のうち内部品質に応じて出荷する割合を高める。	0%	0%	100%	100%	100%	100%	対象作物の出荷物については、全て内部品質による選別を行った。	集出荷貯蔵施設 透過光方式センサー型果実選果機	119,700,000	57,000,000			62,700,000	平成19年2月28日	達成率は100%であり、内部品質を選果基準に入れることにより販売面で一定の評価を得た。	県内産果実の内部品質による選果が拡大したことにより市場における本県の信頼が高まった。		
三春町	たむら農業協同組合	産地競争力の強化	輸入急増農産物における産地構造改革の促進	野菜 (ピーマン)	輸入急増農産物における国産シェアの奪回	契約取引の拡大	4.63% (平成16年度)	15.51% (平成18年度)	23.87% (平成19年度)	18.04% (平成20年度)	11.20% (平成20年度)	204.5%	全出荷量のうち契約取引割合が13.4ポイント高まった。	集出荷貯蔵施設 自動包装機3台・計量機2台・コンベアーライン一式	42,073,500	19,414,000			22,659,500	平成18年8月10日	多様な出荷形態に対応することができたため、契約取引割合が高まった。	契約取引について、高単価で取引されたため、生産農家の所得向上につながった。		
白河市 西郷村 泉崎村 中島村 矢吹町	白河農業協同組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	野菜 (ブロッコリー) (フルムツキ) (みず菜) (春菊)	需要に応じた生産量の確保	ブロッコリーの契約取引の推進	15% (平成16年度)	21.0% (平成18年度)	36.0% (平成19年度)	38.15% (平成20年度)	35% (平成20年度)	115.7%	全出荷量のうち契約取引割合が23.15ポイント高まった。	真空予冷施設一式・製氷機2台	87,045,000	41,450,000			45,595,000	平成19年3月9日	市場での事故が大幅に改善され、出荷先での評価が高まり、契約取引割合が高まった。	販売単価が安定したことにより、生産者の作付面積拡大につながった。		
いわき市	農事組合法人 大野水耕生産組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	いちご	品質向上	野菜の高付加価値化に関する目標秀品率の向上	90% (平成17年度)	86.3% (平成18年度)	86.0% (平成19年度)	91% (平成20年度)	91% (平成20年度)	100%	出荷量に占めるA級品率が1ポイント高まった。	低コスト耐候性ハウス及び附帯設備一式1棟 1,701㎡・高設養液栽培設備一式	32,497,500	14,643,000			5,416,000	12,438,500	平成18年9月19日	施設設備を十分活用し、徹底した栽培管理を行うことにより、秀品率が向上した。	高品質と生産量の拡大を両立し、地元産いちごの認知度向上とシェア拡大につながった。	
福島市	大波機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産	生産性向上	飼料作付け面積1%以上増加	17.4ha	0.8ha	21.0ha	24.2ha	25.5ha	83.9%	飼料の作付け面積が39%増加した。	ロールベアラー 1台 ラッピングマシン 1台 ペールグラブ 1台	4,704,000	1,514,000			3,190,000	平成18年11月20日	機械の導入により、飼料作付面積が拡大し、自給飼料を主体とする畜産経営に移行している。また、農地等が確保したが、労力不足等から飼料作付ができなかったため、目標の達成にはいたらなかった。今後、労力を計画的に確保しながら、自給飼料の作付け面積をより一層拡大する。	自給飼料の増産により、自給飼料を主体とした経営に移行するなど、地域の畜産の経営基盤強化につながった。今後は、目標値の達成に向けた遊休農地の利活用及び飼料作物生産の技術的な支援等を行う。	平成21年度飼料作付面積(見込み)延べ26.4ha	
二本松市	泉機械利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産	生産性向上	単収を5%増加	5,100kg/10a	5,150kg/10a	5,250kg/10a	5,400kg/10a	5,355kg/10a	117.6%	飼料の単収が5.9%増加した	マニュアルプレッター1台 リモコンラップマシーン1台	2,350,000	893,000			1,457,000	平成18年10月18日	リモコンラップマシンの導入により、収穫調整適期に作業を完了することが出来るようになり、飼料増産と飼料の調整作業に係る労力の軽減につながった。また、マニュアルプレッターの導入で堆肥の有効利用と牧草の収量増加を図った。	自給飼料の増産により、酪農経営の基盤強化を図るとともに、堆肥の施肥など地域における有機性資源の循環につながった。		
大玉村	大玉わら部会	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	耕種作物活用型飼料増産	生産性向上	受益面積を1%以上増加	50ha	52ha	54ha	60ha	60ha	100%	稲わらの収集面積が20%増加した。	ロールベアラー1台 テッターレーキ1台	3,306,530	1,102,000			2,204,530	平成19年1月5日	機械の導入により、稲わらの収集面積が拡大し、稲わらと堆肥の交換が進んだ。	畜産農家へ地域内稲わらの提供がより一層進み、耕畜双方の労力的な負担が軽減された。また、耕種農家の堆肥利用が拡大し、地域内の耕畜連携の強化につながった。		
白河市	東村自給飼料生産利用組合	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	飼料増産	生産性向上	飼料作付面積1%以上増加	29.4ha	31.0ha	35.0ha	38.5ha	33.4ha	227.5%	飼料の作付面積が31%増加した。	梱包格納用機械1台 ラッピングマシン1台 サイレージ積込み機1台 コーンハーベスタ1台 トウモロコシ播種機1台	11,235,000	3,631,000			1,123,000	6,481,000	平成18年9月8日	共同利用機械の整備により、労働力削減、作業効率の向上が図られ、飼料作物の作付面積が増加した。	自給飼料の増産により、自給飼料を主体とした経営に移行するなど、地域の畜産の経営基盤強化につながった。	
西郷村	有限会社雪割牧場	産地競争力の強化	産地競争力の強化に向けた総合的推進	多角的農作業コントラクター育成	生産性向上	飼料作付け面積1%以上増加	34.8ha	45.2ha	49.9ha	51.6ha	48.8ha	120%	飼料の作付面積が48%増加した。	フォレージハーベスター1台	32,300,000	10,253,000			3,000,000	19,047,000	平成18年8月31日	機械の導入により、飼料収穫に係る作業時間の短縮と、飼料作物の品質が向上するとともに飼料作物の作付面積が増加した。	地区内の酪農家からの飼料収穫作業を請け負うなど、飼料生産の担い手として、地域の持続的な酪農経営の発展に大きく寄与している	